

3月15日
発行



愛媛県立中央病院

愛媛県立中央病院広報誌

和春日小 はるびも

2021年
第50号

ご自由にお持ち帰りください



切らずに治療する「ガンマナイフ」を更新！



設置施設(2021年3月現在)
全国50施設以上
四国に2施設

▲当院ガンマナイフ室

2020年11月、定位放射線治療装置「ガンマナイフ」を更新しました。当院のガンマナイフ手術症例件数は、2019年実績で111件となっており、愛媛県内の脳外科治療に大きく貢献しています。

※出典：当院年報（2019年診療業務報告書）

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地 TEL：089-947-1111



ホームページは
こちらきやん！



定位放射線治療装置「ガンマナイフ」を更新

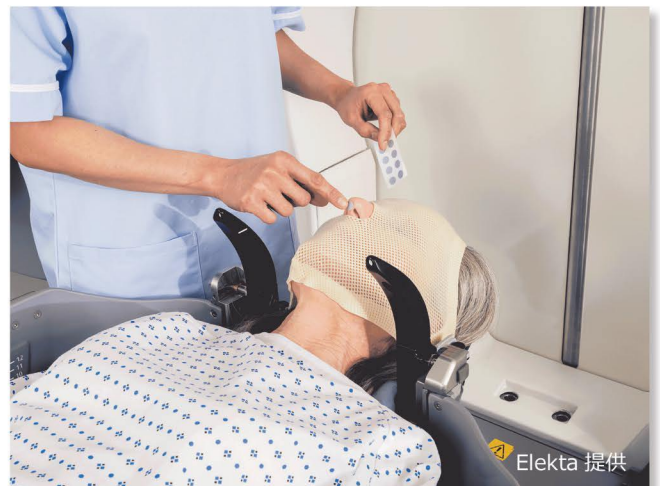
ガンマナイフとは

ガンマナイフは、開頭手術をせずに、がんなどの脳内疾患を治療する頭部専用定位放射線治療装置です。約 200 個のコバルト 60 の放射線源を半円球状（ヘルメットのような形状）に並べ、ここから照射されるガンマ線の細いビームを虫めがねの焦点のように集め、病巣部に集中的に照射するため、正常な脳組織への被ばくを低く抑えながら、脳内の病巣に対して照射の誤差も 0.5mm 以下という極めて高い精度で放射線照射を行うことができます。

最大の特徴は、従来のフレームによる固定に加え、マスクによる固定が可能となったことです。それを可能にするために装置左側にある招き猫の手の様な部分が頭部を中心に回転することで CT 画像を撮影でき、高精度の位置決めが可能となったことも挙げられます。これまでのガンマナイフでは治療困難であった大型の病変に対しても、マスク固定による分割照射を選択することで、患者さんの状態に合わせた治療が可能になってきました。



Elekta 提供



▲マスクシステム

適応症例

脳腫瘍	髄膜腫、聴神経腫瘍、下垂体腫瘍、転移性脳腫瘍
脳血管障害	脳動静脈奇形（AVM）
機能性疾患	三叉神経痛

※大きさ、場所、個数などによって適応は変わります。

治療の流れ（フレーム固定）

【ステップ 1】 MRI 検査

治療直前にMRI室にて造影剤を使ったMRI検査を行います。

【ステップ 2】 フレーム付け

頭とおでこ計4カ所に局所麻酔を行い、フレームをピンで固定します。

【ステップ 3】 CT 検査

フレームをつけた状態で造影剤を使った CT 検査を行います。

【ステップ 4】 治療計画

CT 画像にフレームの目盛がついていきますので、それを基準に病巣の位置がコンピュータに登録され、MRI 画像を合わせて治療計画を作ります。

【ステップ 5】照射治療

治療計画が完成しましたら、フレームをつけた状態でガンマナイフのベッドに寝てもらいます。ベッドが自動的に動いて治療が始まります。治療中は、熱や痛みを感じることはありません。

【ステップ 6】 フレーム外し

治療後は、直ちにフレームを頭部から外して、終了します。

ガンマナイフ外来

月曜日午後と金曜日午後に行っています。主治医からの紹介で受診予約をしてください。



当科では、主にかかりつけ歯科医院からの紹介患者さんを中心に抜歯、顎骨^{のう}嚢胞等の口腔外科疾患や入院患者さんの一般歯科治療、口腔ケア等の診療を行っています。現在歯科医師4名、歯科衛生士5名、歯科技工士1名が診療に携わっており、それぞれの役割に応じた外来診療を行っています。2019年の初診患者数は3,134名、再診患者数は延べ12,284名と、多くの患者さんの診察をいたしました。

また近年は、全身麻酔で他科の手術を受ける患者さんの口腔ケア（周術期口腔機能管理と呼んでいます）を行うことで、肺炎等の術後合併症を軽減できることが判明しており、現在は対象患者さんの口腔ケアに力を入れています。2019年は1,350名の周術期口腔機能管理を行いました。今後、地域医療支援病院の歯科として信頼される診療を心がけ邁進して参ります。

※出典：当院年報（2019年診療業務報告書）

ウイルス感染と口腔ケア



現在、ご存じの通り新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大が大きな社会問題となっていますが、以前より歯磨き等の口腔ケアを徹底することで口腔内細菌数が減少し、高齢者の誤嚥性肺炎予防になることが知られています。また、口腔内細菌が持つタンパク質分解酵素がインフルエンザウイルスの細胞内への感染を手助けしていることが分かっており、口腔ケアによってインフルエンザウイルス感染の予防効果になることが明らかになっています。

COVID-19の原因ウイルスであるSARS-CoV-2もインフルエンザウイルスと同様の酵素を利用した感染様式であることが分かっており、まだエビデンスは明らかにされていませんが、口腔ケアによってCOVID-19の感染予防の一助になる可能性は高いと思われます。

このことから、日頃からかかりつけ歯科にて定期的な診察を受けるようにしましょう。



当院の
ドクターを
紹介します

ドクターズカルテ

循環器内科 しげまつ たつや
重松 達哉先生

Doctor



▲循環器内科外来診察室にて



循環器内科の重松達哉と申します。松山の出身で、2011年に香川大学を卒業し、卒後臨床研修から当院で勤務しています。座右の銘は、“情けは人のためならず”です。日々進歩していく循環器領域の知識や技術を習得していくことは大変ですが、それが患者さんのためになり、さらには会得した知識や技術が自分の武器になっていくため、日々の診療に非常にやりがいを感じています。

趣味は多数あり書ききれませんが、映画鑑賞・スポーツ観戦・読書など、主に室内でできるものが多く、新型コロナウイルス流行の影響をあまり受けませんでした。今後も患者さんのため、また自分の成長のため精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



▲アブレーション治療中（右側）

当院の
研修医を
紹介します

Resident

1 年次研修医
なが せ え み
長瀬 映美先生

興味関心のあることは何ですか？

新型コロナウイルス流行の影響であまり行けていませんが、落ち着けばスキューバダイビングに行きたいです。愛媛県には素敵なダイビングスポットが多く、日常とは違う体験をすることで良いリフレッシュになるため、機会があれば行きたいと思っています。

日頃気を付けていることは何ですか？

診療の場ではまだまだ分からないこともありますが、症状や検査結果から自分なら次にどうするか、患者さんにとって最善の治療は何であるかを考えるよう意識しています。教科書通りにいかないこともありますが、多くの先生方に教えていただきながら勉強しています。

今後の目標は何ですか？

先生方やスタッフの皆さんに支えていただきながら日々診療にあたっています。初心を忘れず、今まで教えていただいたことを患者さんに還元できるよう、これからも精進していきたいと思っています。



▲麻酔科の研修で原田先生に神経ブロックを教えていただいている様子（真ん中）



▲愛南町でスキューバダイビング中に撮った1枚





▲地域医療連携室長と後方連携スタッフ



▲前方連携スタッフ

地域医療連携室では、地域の医療機関との病診連携及び患者さんやそのご家族との医療相談等の業務を行っています。患者さんにより良い医療を提供することを目的として、地域の医療機関がそれぞれの機能や特殊性を活かせるように、病院と患者さんをつなぐ役割を担っています。

また、病気やけがをすると、病状や治療についての不安だけでなく、医療費の支払いや介護のこと、退院後の生活の不安など、様々な心配事が起こります。地域医療連携室の医療ソーシャルワーカーや看護師等は、患者さんやご家族からの相談もお受けしています。

例えば、

- 転院・施設入所や退院後の療養生活に不安があるとき
- 介護保険制度や保健・福祉サービスなどの利用について
- 医療費の支払い・経済的な不安があるとき
- 治療と仕事の両立について不安があるとき
- がん相談に関すること

ご相談をいただきましたら、院内の医師や専門職種スタッフ及び地域の医療・保健・福祉機関と連携を取りながら、安心して療養できる環境について患者さん・ご家族と一緒に考えていきます。

ご相談を希望される際には、担当医師や看護師などにお声かけください。

直接お越しいただいても構いませんが、事前にご連絡いただきますと面談までがスムーズになりますので、予め地域医療連携室 089-947-1165（直通）へお電話ください。



▲当院の医療ソーシャルワーカーが
ご相談をお受けします

【受付時間】

平日

8 時 30 分から 17 時まで

（土曜日・日曜日・祝日はお休みとなります）

【場 所】

診療棟 2 階

サンマルクカフェの上に
あるきん





新型コロナウイルス感染症対策に係る寄贈

新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、皆さまにはご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、当院スタッフへの激励の気持ちを込めて、様々なものを寄贈していただきましたので、その中の一部とはなりますが、ご紹介させていただきます。



▲ JA 全農えひめ様より、温州ミカンの贈呈
(2020.12.22)



▲ 久万高原町 青年農業者連絡協議会様より、
トマトジュースの寄贈 (2020.12.24)



▲ 砥部焼窯元きよし窯の作家 山田ひろみ氏より、
陶板作品「光の人魚媛」の寄贈 (2021.1.22)
設置場所：管理棟1階

その他にも、次のものを寄付いただきました。
(2020年12月～2021年2月)

○シトラスリボン
○医療用ガウン
○フェイスシールド
○マイカミンケット (寝袋)
○アマビエ厄除けストラップ
○医用 PVC 検査手袋 M 中号 100 枚入り
○アルコール除菌プレミアムウイルシャット
○アルコール消毒プレミアムウイルシャット手指用
○アルコール消毒プレミアムウイルシャット手指用 詰め替え用
○伊予柑 (10kg 箱)
○ステーキ (焼肉) 弁当
○CPE エプロン
○入浴剤
○マスク
○メタックスローション
○パワーテープ



転入・転出医師 (2020.12.1 ～ 2021.3.1)

転入

所属	氏名	専門
救急科	二宮 鴻介	専攻医
救急科	田中 健一朗	専攻医
脳神経外科	柴垣 慶一	脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷
心臓血管外科	山形 顕子	心臓血管外科
形成外科・ 顎顔面外科	土居 未歩	専攻医

転出

所属	氏名
産婦人科	今井 統
脳神経外科	篠原 朋生
心臓血管外科	原田 崇史





ビルの“主治医” 大成有楽不動産株式会社

中央監視室(大成有楽不動産株)の業務内容は、主に館内の空調・電気・給排水設備の運転監視業務、点検業務です。館内の設備に異常が発生すれば、中央監視室で感知し中央監視室職員が現場へ直向します。

中央監視室には 24 時間 365 日、職員が待機し監視業務を行っています。

館内で生じる不具合への対応業務も行っています。もし施設に何か異常がありましたら、お近くの職員にお声掛け下さい。

竣工から 8 年が経過し、少しずつ不具合も増えてきています。

点検等で患者さん、来院された方にご不便をお掛けする事もありますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。



▲空調機整備

▼電気設備切り
替え操作



▲中央監視及び
操作



▲中央監視室職員(11名体制)

個人情報の取扱いにはご注意ください!!

医療安全
管理部だより
No.45

少し春の兆しが見え始めた季節になりましたが、まだまだ寒さが堪えたり、そうかと思えば春の陽気と思えるような暖かさを感じたり、体温調節が難しいですね。COVID-19 で外出もままならず、ストレスも大きいと思います。家でできるラジオ体操や簡単な運動をされていますか？免疫力を高めるために、バランスのとれた食事もしっかりとりましょう。



さて今回は、個人情報の取扱いについてです。

患者さん自身が自分を守るためにご協力いただきたいことがあります。

当院の受付は、手書きで行なっています。そのため、数字の読み間違い、名前の漢字間違いなどが起こりやすい状況です。受付の際には、慌てずに丁寧に記載するようにお願いします。また、再診で来院された時に、自動再来受付機

に診察カードを取り忘れていらっしゃる方もいらっしゃいます。当院の診察カードは、身分証明書として取り扱われることもあります。さらに、自動精算機のところでは、患者さんの情報の一部が記載されている受付票や処方箋の置き忘れが発生しています。次の患者さんが持ち帰ってしまう可能性もあります。大切な個人情報ですので、取扱いには十分に注意をしてください。

当院では、診察待ちの患者さんには受付番号で声をかけさせていただいています。個人情報を守るために、受付票の番号をご確認いただくようお願いいたします。なお、緊急時などは、場合によっては患者さんのお名前前で声をかけさせていただいたり、呼び出しを行なったりすることがありますが、ご了承くださいませと幸いです。



連携医療機関紹介 ～第21回～

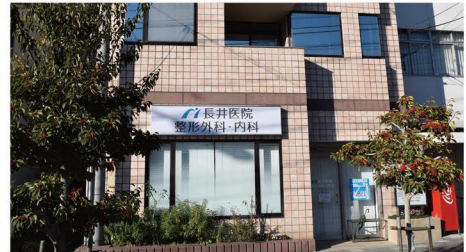
長井医院 整形外科・内科

- 所在地 松山市築山町 7-11
- TEL 089-947-1808 ■FAX 089-947-1820
- 診療科目 整形外科・内科・リハビリテーション科
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00 (初診受付は11:30まで)	○	○	△ 13:00まで	○	○	△ 13:00まで	×
14:00～18:30 (初診受付は18:00まで)	○	○	×	○	○	×	×

【病院の概要】 当院は1950年に現院長の祖父が当地に開院し、これまで70年間3代にわたり地域医療を行っています。理念は「患者さまの描く人生の物語をサポートし、より身近に寄り添った診療を行う」です。

【病院の特徴】 整形外科専門医、プライマリ・ケア認定医の3代目院長と内科の2代目院長の2診体制で、一般整形外科・内科診療を行っています。超音波エコーを駆使して診断精度をあげ、治療・リハビリテーションにつなげます。また、一般手技に加えて、神経・筋膜ハイドロリリースや肩サイレントマニピュレーション、鍼灸施術などを行っています。入院治療やCT・MRIといった画像検査が必要な場合は、県立中央病院など基幹病院に依頼して、連携を図っています。今後ともよろしくお願いいたします。



医療法人 山中内科・消化器内科クリニック

- 所在地 松山市内宮町 558-1
- TEL 089-978-7611 ■FAX 089-978-7612
- 診療科目 内科・消化器内科
- 外来診療時間 休診日 水曜・日曜(第1・3週)・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30 (受付は12:15まで)	○	○	×	○	○	○	△ 第2・4・5週
15:00～19:00 (受付は18:45まで)	○	○	×	○	○	○	×

【病院の概要】 当院は2008年7月に、松山市堀江エリアの南に位置する内宮中学校の正面に開業しました。県道沿いの静かな町ですが、近年複合施設の建設や診療所が立ち並び便利な通りになりました。

【病院の特徴】 内科と消化器内科を標榜し、消化器疾患に対する専門性と検査、内科専門医として幅広い対応ができる「かかりつけ医」を目指しています。また、専門的検査や治療が必要な場合には県立中央病院をはじめ基幹病院と速やかに連携を図っています。退院後も自宅で安心して外来治療が続けられるように可能な範囲で往診も行い、福祉サービスとも連携しながら地域医療に取り組んでいます。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

